

2022年度

S 4

小 論 文

2月25日(金) 教育学部(学校教育教員養成課程) 11:00~11:40
【前期日程】

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(1枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、2ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて必ず解答用紙の表面のみに記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。解答用紙の裏面と下書き用紙の記述は採点対象となりません。)
- 5 問題は、声を出して読んではいけません。

試験終了後

- 6 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

次の文章を読み、【問1】【問2】に答えなさい。

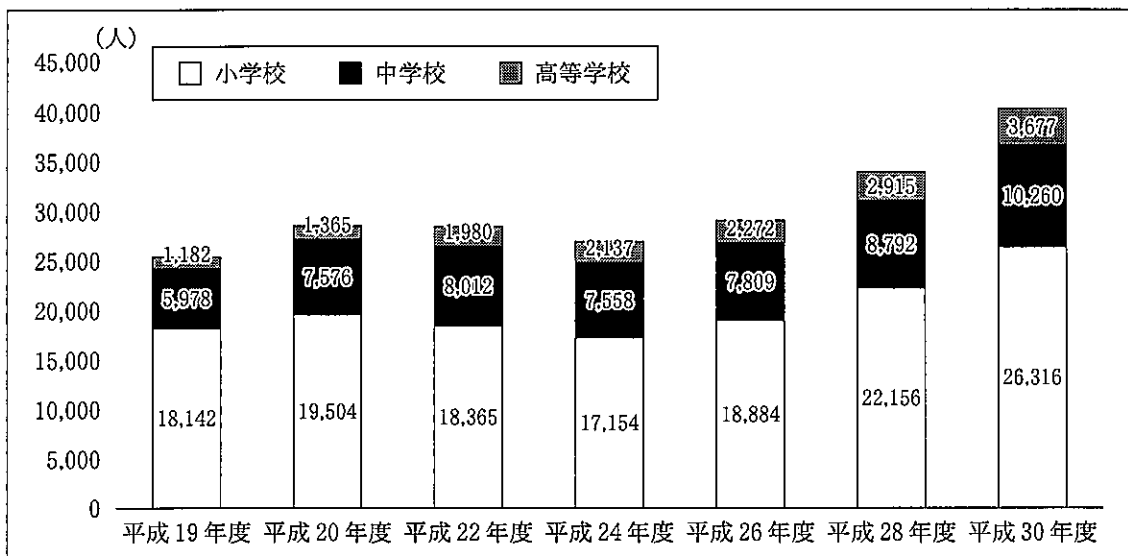
近年、我が国では少子高齢化が急速に進んでいる。総務省による人口統計と、国立社会保障・人口問題研究所による「日本の将来推計人口(平成29年度推計)」によれば、「総人口の減少」「高齢化率の増加」「若年人口の減少と総人口に占める割合の低下」が少なくとも2050年までゆるやかに継続していくと言われている。

一方、新型コロナウイルス感染症の影響によるこの2年程度を除けば、外国人労働者の増加や留学生の積極的な受け入れなどが進んでおり、外国につながる人口も増加している。静岡県は全国的にも外国人労働者が多い県のひとつである。

資料1は、平成19年度から30年度までの、日本の公立学校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒数の推移を示したものである。

資料1 「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成30年度)」

(文部科学省統計情報)を元に作成



【問1】 今後も、資料1のような傾向が続くとしたら、学校教育はどのように変わっていくのが望ましいだろうか。あなたの考えを具体的に述べなさい。

【問2】 今、学校現場では資料2のM君のようなケースが見られる。あなたのクラスに日本語指導が必要な児童生徒が在籍した場合、教師としてどのような対応や配慮を行うか。考えを述べなさい。

資料2 「インクルーシブ教育時代の教員をめざすための特別支援教育入門」 萌文書林
『外国につながる子どもの理解と支援』より抜粋

M君は小学校1年生のときに外国人の両親と初めて来日しました。入国してすぐに、公立小学校に編入しましたが、日本の学校になじめず数か月で在日外国人学校に転校していきました。2年ほど経ったころ、外国人学校の授業料が高騰したため、M君は再び公立小学校に戻ってきました。

M君は現在、小学校5年生です。図工と体育が好きで、今では休み時間や放課後に、サッカーやドッジボールをして友達と元気よく遊ぶ姿が見られるようになりました。友達との会話もかなり上達しましたが、日本語の読み書きや読解の力はまだまだ十分とはいえません。国語と社会はとくに苦手になっています。

しかしM君のお母さんがそのことを気にかけている様子はありません。M君は流暢な日本語を話すし、家族が日本語に困っているときに通訳してくれたりするので、M君の日本語の力に問題があるとは思っていないようです。M君の学習問題について学級担任とお母さんのあいだに認識のずれがあるのですが、お互いにそのことに気づいていません。